



Star ☆☆☆

EXPRESS

5月の予定

4月28日 5月度授業料引落日
(5月9日 引き落とし予備日)

5月7日 珠算検定申込締め切り
(実施は6月26日)

ゴールデンウィークはカレンダー通り
で、祝祭日はお休みです。

◎6月4日実施の暗算検定の時間は次
月号でお知らせいたします。4日の都
合がつかない皆さんは2日・3日の授
業中に受験できます。6月4日の通常
授業は休講です。

◎今年度の七夕そろばんワールドは7
月3日、三重県松阪市で開催されま
す。段位練習生に出場資格がありま
す。参加料3000円。行き帰りとも車
で、早朝に出発し、帰りは午後9時頃
になります。申込締切は5月7日。

◎今夏の合宿は8月16日から18日
です。場所は例年通り京都府京丹後市
の夕日が浦温泉、旅館『海幸』。4月10
日に黒板に書いて告知したところ、3
日間で定員に達してしまいました。現
在はキャンセル待ち状態ですが、3級
練習生以上で参加希望の方はとりあ
えずお申し出下さい。

☆7月17日に今年度のA1グランプリ
大会が開催されます。出場可能なレベ
ルに達している生徒の皆さんには5月

中旬から申込書を配布していきます。
会場は枚方市立地域活性化支援センタ
ー(「輝きプラザきらら」内)、午後0
時30分開会、午後4時閉会予定です。

☆全日本ユース珠算選手権大会☆
当教室生の結果

総合競技 アンダー10部門

- 3位 金本三夢
- 7位 金本大夢
- 20位 大内悠聖
- 21位 山口愛未
- 29位 金本愛夢
- 37位 大内峻聖
- 52位 桑原唯衣
- 64位 蜂谷圭将
- 76位 福田陸人

総合競技 アンダー12部門

- 11位 永井功久
- 29位 桑原麻衣
- 33位 安原章太
- 46位 濱野恵太
- 73位 花岡棋平
- 85位 山内星徳

総合競技 アンダー15部門

- 40位 田村早絵
- 57位 今村妃葉

種目別競技

わり算2位 金本大夢

フラッシュ暗算競技

- 2位 金本三夢 金本大夢

☆ユース大会の会場で集まりました募金額は33177円でした。募金額は被災地でそろばんを失った子ども達にそろばんを送る資金に致します。

人が財産

4月17日、京都市・立命館小学校で全日本ユース珠算選手権大会を開催いたしました。この大会は今回で4回目です。

数名の先生方とともにいろいろな目的を持って立ち上げた15歳以下の選手達による全国大会は年々盛況になり、今年は参加申込の受付開始からわずか40分で予定人数に達するほどでした。

申込は3月8日午前10時より当教室の電話でのみ受け付けたのですが、電話は切っては鳴り、切っては鳴りを繰り返しました。11時にはお申し込み締め切りという情報をネットで流して頂き、定員を33名ほどオーバーしてようやく一段落したのが8日の正午を過ぎた頃だったでしょうか。

その後、続々と正式の申し込み書が届きだし、パソコンにチマチマと入力作業をしていたところにあの地震発生です。

直後から大会の実施に関する問い合わせがチラホラと来はじめました。

大会の開催可否の判断をしなければならなくなったのですが、中止や延期をする気持ちはありませんでした。直接被災した参加者や教室はなかったことと、あのニューヨークのテロ事件の際、当時のニューヨーク市長が市民に呼びかけた『まずは日常生活を普段通りに普通にいきましょう』という言葉が深く印象に残っていたこともあったからかもしれません。

地震発生の数日後、申込団体宛に受付完了の文書を出しました。文頭には次のような言葉をしたためました。

『未曾有の大災害が発生致しました。人的被害・物的被害・精神的被害、どれもが想像を絶する状態です。

それでも、生きている限り、人は悲しみと寄り添い、あるいは悲しみを抱え、あるいは乗り越えて、進んでいかなければなりません。

ユース大会の開催可否に関するお問い合わせを頂いております。

いかなる逆境にも立ち向かうのが若さの特権だとするならば、なおのこと、「挑戦者たち」のためのユース大会を凜として実施しようと思えます。

そろばんができることを感謝する場としてすべての大会関係者がユース大会に集えるよう、万全の準備をいたす所存です。』

宮城県石巻市で教室を開かれ、昨年の大会に参加して頂いた先生に連絡がつかないことが判明したのはこの文書を出した頃でした。1か月近く経って、新聞に震災で亡くなられた方々のお名前の中にその先生のお名前を発見したのは大会の直前。何が何でも大会を大成功させたいと思ったものです。

日本国民1億2千万人が今持っている力を1%伸ばすと120万人分に匹敵します。頑張ると2%伸ばすと240万人分です。被災して困っている方々の数はいまだ正確には把握できませんが、今動ける人たちが2%力を伸ばすことで「240万人力まんにんりき」になるのです。

そろばん学習は努力の結果得られる計算力が突出しているため、どうしても『計算力の伸長』に目を奪われがちですが、実際はすぐれた計算力を獲得していく過程で能力全体が膨らんでいくものです。このことは生徒の皆さんが実証してくれています。「全能を伸ばす」そろばん学習を頑張ること、そ

してその結果何%も大きくなった皆さんの存在そのものが震災の大きな復興の手助けとなっていきます。

義援金

震災直後から教室に設置しております募金箱。かなりの重さになりましたので予定を繰り上げて4月20日に一旦募金額を数えましたところ、1円玉から一万円札まで、計58667円ありました。

約束通り、同額を教室から増額し、きりのいい120000円として被災地に送ります。

津波や建物崩落によって学用品を失った学校も多いことから、学校で役立つものを、ということで宮城県のそらぼんの先生に調査をして頂いたところ、サッカーボールを贈ってはどうかというご提案を頂きました。

しかしながら、サッカーができるような無傷のグラウンドは仮設住宅用地となることが予想されることと、できる人が限られてしまうことから、サッカーボールを贈ることは断念しました。

そこで、誰もが気軽にできるスポーツ系のものは何かないかと考えていくうちに思いついたのが『大縄』です。

クラス対抗・グループ対抗・避難所対抗・仮設住宅自治会対抗……、とグループ単位で力と呼吸を合わせて記録を高めあえることと、ちょっとした運動不足の解消になること、場所をあまり必要としないこと、保管にも邪魔にならないこと、いざとなったら洗濯物を干すロープにも使える(?)ことなどなど、考えれば考えるほどベストの贈り物に思えてきたのです・・?

ということで、120000円で準

備できるだけの大縄を宮城県のそらぼんの先生に送ります。現地の先生方にはお手数をおかけすることになるのですが、適当な場所に配布して頂くことになると思います。

何かメッセージを、というお言葉を頂きましたので、以下のような文章を書きました。大縄に同封します。

大阪府交野市

星の郷総合教室 金本和祐

「しょう油がなくなったのでちょっと貸して」と、となりの家がどんな状態かも気にせずにとやどやと押しかけてしょう油をもらっていけたのは、今からほんの数十年前のことでした。

他人の世話になって生活し、他人の世話をして生活していく。「おかげさまで」という気持ちをみんなが持っていた時代でした。

それが、いつの頃からでしょうか。

「自分のものは自分だけのもの」という考えが広まっていきました。

運動会などでグラウンドにレジャーシートを敷きます。誰のものでもないグラウンドのはずなのに、ただレジャーシートを敷いたというだけで自分の土地のような錯覚を起こし、誰かがレジャーシートを横切ろうものなら、ものすごく怒る人が出てきたのもこの時代です。

大地震と大津波は、時代を3月11日の前と後という2つに暴力的にぶった切りました。

直接、人命や身体、財産などに被害を受けた被災者の皆様はもちろんのこと、遠く離れた大阪のような場所に住む人たちの心の中にも震災は大きな影を落としました。

見つかっては悲しみ、見つからなくても悲しみ、という結果になることがわかっていながら、それでもなお失った人や物を探さずにはいられないという気持ちを考えるといたたまれません。

失ったものがあまりに大きすぎます。

でもそんな悲しみの中、ほんの少しでも見つけたこと、いや、思い起こしたことは、私たちは、決して一人では生きられず、他人の世話にならずに生きていくのは不可能だということでした。他人の世話になり、世話ができるときにはお返しをする。小さな例が、最初に書いた「しょう油の貸し借り」なのです。

そこで、しょう油の貸し借りでは無いのですが、3月12日からそろばん教室に募金箱を設置し、生徒や保護者の皆様から募金を募りました。被災地にすぐさま必要なものを送ろうにも、手段や人員が不足してうまくいかないことは神戸の大震災の時に経験しました。時が経つにつれて必要なものは時々刻々と変化していくでしょうから、大阪のような遠くからできることは、必要なときに必要なものに換えられる現金を集めることでした。すると生徒だけでなく、教室を訪れる

様々な業者の皆様なども来られるたびに募金して下さいました。

4月中旬になって、さて何を送ろうかと、宮城県で珠算塾を開いていらっしゃる先生に相談をいたしました。学校そのものも被災した報道を見聞きしていたものですから、文房具や教材など、今不足しているものを色々と調べて頂きました。その結果、サッカーボールはどうだろう、というご提案を頂きました。

サッカーボールと聞いて、元気盛りの皆さんの、震災から1か月以上もの間、思いっきり走り回れなかったことに悶々としている様子が目に浮かびました。

でもサッカーをするには大きな場所がある、大きな場所は避難所や仮設住宅になっている、そんなところでサッカーボールを思い切り蹴ることができるのだろうか、などと考えを進めていくうちに、同じスポーツ系で大縄ではどうだろうとか思い至りました。

もし数が余れば学校だけでなく、避難所や今後各地にできていく仮設住宅の自治会でもお使いいただければと思います。ちょっとした運動不足の解消と、皆さんが力を合わせて困難に立ち向かっていかれるように願いを込めたのもです。大縄が、「必要なときに必要なものか」と尋ねられるとかなり困るのですが、時間があるときに仲間が集まって、1回でも2回でもたくさん跳べるように練習してみてください。そして、是非、グループ毎に大縄飛び発表会をしてみてください。回数伸びが実感できておもしろいと思いま

す。

今回は「しょう油」の押し売り、というか、押しつけです。お返しはもちろん要りません。おいそがしい中、お返事も不要です。

皆さんが練習をしてどんどん回数を伸ばしていき様子を周囲の人たちが見て勇気づけられたならば…。

自分が楽しいことが他人も楽しくさせること。これほど素晴らしいことはありません。

東北の地で笑顔で皆さんが大縄を跳んでくれることが、私達にとってこの上なくうれしいしょう油のお返しです。

出席時間20時間以上の生徒

(4月20日までの1ヶ月)

金本大夢42 金本愛夢42 桑原唯衣37
桑原彩衣37 谷岡菜々子37 桑原麻衣36
西島朝香35 金本三夢34 楓まい34
楓陸33 山口愛未33 濱野恵太32
奥田南海30 盛井元仁30 奥田あさひ29
大内峻聖29 永井功久29 西村梨留29
大内悠聖28 蜂谷圭将28 阪口隼都27
酒井結衣26 中越菜々子26
久保田莉央25 古川和佳24 酒井克巳23
巽希美23 長尾侑美22 湊結子22
安原章太22 山内星徳22 足立歩大21
文沢駿介21 山根建太郎21 山内美空21
今村妃菜20 塚本旬20 文沢一花20
古川愛佳20 若林聖和20

猛スピードばく進中(PERFECT)

(初歩教材PERFECTを1ヶ月で20ページ以上進んだ生徒)

文沢一花127 明浦日香102 足立歩大84
阪口隼都76 梶原太智71 田丸香

月67 楓陸63 広川朔彌61 眞井夏希59
古川愛佳58 村上小夏53 渡部愛弓52
久保田莉央46 松野未佳43 兼松咲菜41
平井望彩41 井手蒼人39 田丸彩月39
山内美空37 塚本旬34 森岡賢一33
山口匠史30 今井翔太29 田中瞳夏29
池崎佑磨26 齋藤小春25 佐藤菜南子24
森宥友22 渡邊悠21 桑原彩衣20
前田小春20

猛スピードばく進中(瞬達)

(初歩教材「瞬達」を1ヶ月で5ページ以上進んだ生徒)

西村梨留26 楓まい25 西島朝香25
中越菜々子16 木寺輝12 金田久慶11
山内優歩11 熊田星麗9 池田菜乃子8
有本華帆8 北村樹7 木村理仁7
四宮彩花7 湊結子7 岡留彩花6
岡田遥6 谷岡菜々子6 中家千裕6
湯浅彩乃6 小野澤怜花5 石田優麻5
藤岡碧海5

フラッシュ暗算合格者

(4月20日までの1ヶ月間)

七段 大内峻聖
四段 黒田幸花
三段 山内星徳
二段 荒木幸菜 奥田あさひ
初段 湊結子
1級 宮崎颯 田伐志帆 鍵野佑登
木寺輝 辻尾菜々
2級 湯浅彩乃 四宮彩花 堀さやか
吉田魁馬 西島朝香
久保田莉央 楓陸
3級 小石恭馬 札埜源貴
有本華帆 堀さやか
4級 若林聖和 辻本星来
谷岡菜々子 古川和佳
5級 安達菜々美 川崎龍一
若林聖和 谷岡菜々子
9級 竹下柊希 黒木康平

☆昨年11月号の塾報でお知らせいたしました「ハワイ親善珠算使節団」のハワイ訪問は、春休みを利用して実施されました。地震の関係で実施を逡巡したのですが、現地での準備が着々と進んでいたことから予定通り行いました。当教室で指導を手伝って頂いている田伐先生が感想文を書いてくれましたのでご紹介いたします。

最初に、金本先生ご夫妻、福田先生、佐藤先生、岡部先生、岡田先生、青木先生、若松先生、高柳先生ご夫妻、跡治先生、美谷先生（順不同）はじめ、ハワイでそろばんを教えている先生方には、大変お世話になりました。失礼かとは思いましたが、この場をお借りしまして、お礼と感謝の気持ちをお伝え出来ればと思い、塾報に掲載させて頂く事にしました。本当にありがとうございました。

縁あって、雑用係程度のお手伝いさんとしての私と、まだまだ、そろばん未熟な娘とが、先生方と一緒にハワイ親善珠算使節団の一員として参加出来た事を心より感謝致しております。

最初はリゾート気分に参加させて頂きましたが、沢山の先生方と一緒にそろばん以外の教育だったり、計算能力の向上だけでなく、様々な能力に繋がって行くそろばん教育の実際の体験談等を聞かせて頂き、そろばん教育の深さと先生方の努力、そして愛情の深さを感じながら、私自身勉強させて頂いていました。

金本先生の講演中、現地の子ども達と日本から参加した子ども達との交流では言葉の壁は微塵も感じず、又、動じず、ただただ笑い声と片言の英語？を

解っているのかいないのか…賑やかに遊んでいました。

子供たちの順応性には驚いてばかりでした。

そして講演後、日本の子供たちの模範演技では、リゾート気分だった顔が急に真剣な表情に変わり、集中力が目に現れ、次々と問題を解いて行く姿は、現地のご父兄方も息を飲みながら身を乗り出してご覧になっていました。

珠算競技会をご覧になった事がある方は、おわかりかと思いますが、珠算競技はアスリートのスポーツを見るのと同じ位の緊張感と迫力があります。

親御さんにとって、万国共通！子供の成長への関心はとても高く、金本先生の講演と模範演技にととても感心されていました。

夕方からは、ワイキキビーチでハワイのそろばんの方々がバーベキューの準備をして下さり、美味しいお食事と、楽しい交流会を開いて頂き、思い出に残るひとときを過ごせた事もとても嬉しく、感謝致しております。ありがとうございました。

さわやかなハワイの風、海、空、太陽の下で子供達にとって、世界の広さやグローバルな感性を体験出来た事は、これからの成長に少しでも役立ってくれることと思っています。

余談ではありますが、私自身、高校3年の時、大阪府中国親善使節団の一員として（大阪府の高校生対象）初めて海外旅行に行かせてもらい、とても良い体験をさせてもらいました。又、無理を聞いて行かせてくれた両親には感謝しています。

世界の大きさを肌で感じ、子供の頃の

体験は本当に五感をフルに活用し、大きな成長を促してくれるものだと思います。

海外旅行となると、贅沢な事かもしれませんが、色々な場所で日頃出来ない体験や経験を子供にチャレンジさせることは大切な事だと、このツアーで再認識させて頂きました。

かわいい子には旅をさせろ！ですね。
ありがとうございました。

<田代純代>

書道教室から～加藤真月

5月号では、6月10日締め切りの毛筆1級以上の昇段試験があります。硬筆試験に続いてですが頑張ってお練習しましょう。毛筆1級以上の方は400円をご持参ください。硬筆試験代がまだの方も400円をお願いします。成田山書道展の結果はまだわかりません。わかり次第ご報告いたします。

毛筆で重視されるのは線の力強さ・太細・墨の濃淡の変化です。形が良くても、ボールペンで書いたように同じ太さの線で書いているようではよくありません。筆をどのように使って書いているかが紙に現れます。子供たちが練習している楷書（続けて書かない字）の場合、墨の濃淡は関係ありませんが、力強さ・太細は重要です。筆の入り方は斜めにしっかり筆を止めて入るのが基本です。画数の多い字、小さく書かないといけなくなっても、しっかりと筆をたてて斜めに入ります。そうすることで力強いすっきりとした線になります。うまく書けない子供たちで多いのは、筆の下のほうを持っている、筆だけを動かそうとしてい

て腕全体を動かしておらず、手首をこね回している、筆が倒れている、強く筆を持ちすぎているなどです。書いた作品を添削する時に、一緒に筆を動かしたり、書くところを見てもらったりして説明しています。人によってうまくなるスピードは違いますが、一人ひとり丁寧に指導していきたいと思えます。

昇段試験以外の月は、1級以上の方は毛筆の基本的な払いやとめなどがある程度できつつある状態ですので、課題を何回か練習した後は、書を楽しむよう、いろいろな字を書いて作品としてお持ち帰りいただいています。

硬筆の課題は、難しい漢字があまり出でこず、物足りなく思うかもわかりませんが、漢字は課題とは別に上手に書けるよう練習しています。ひらがなは文章の中で必ず出てくるので、軽んじず、しっかりきれいに書けるよう練習しています。新小学1年生には「ひらがな2」の練習帳をお渡ししました。順に練習していくと、ひらがなが上手になっていくことと思えます。

さて、大人の書道も金曜日午前中9時半から11時半まで行っています。大人用の本もあり、基本から大きな作品まで練習できます。ペン字だけの本もありますので、よかったらいらしてください。

5月号の段位は下記の通りです。

・小1	毛筆	硬筆
小西 美琴	8級	6級
市川 大誠	8級	6級
・小2	毛筆	硬筆
角南 佳祐	6級	3級
・小3	毛筆	硬筆

今井 麻奈未	2段C	2段B
加藤 大騎	初段	2段B
沼田 賢志郎	9級	2級
東 美玖	初段C	1級A
土橋 乙心	4級	1級C
小西 真雪	6級	2級
松下 菜々	5級	2級
九十九 光希	4級	1級
中村 優吹	6級	5級
・小4	毛筆	硬筆
蜂谷 圭将	4段C	5段B
辻尾 菜々	2段B	4段C
金本 大夢	3段B	3段B
上野 舞華	3段B	3段A
沼田 創史郎	3級	1級A
中西 佑輔	3級	初段A
松下 真之介	4級	2級
尾碕 初菜	3級	2級
西本 朱里	5級	5級
・小5	毛筆	硬筆
市川 未悠	3段A	3段B
金本 三夢	3段A	2段B
吉富 千夏	2段B	4段A
大槻 遥香	初段B	1級B
岸本 健志	1級C	初段B
山下 彩乃	2段A	初段B
東 優里	初段B	初段B
園田 有咲	1級B	1級B
山口 愛未	1級B	1級A
桑原 唯衣	5級	4級
・小6	毛筆	硬筆
上野 豪斗	初段A	3段A
藤原 弥咲	3段C	3段B
中井 美咲	2段C	5段B
園田 沙耶香	1級A	1級
寺西 匠人	5級	3級

◎春休みを利用して、ハワイでのそろばん講演を行ってきました。現地集合も含めて日本から23名の参加です。現地の日本人・日系人・米国人・その他の皆様総勢60名ほどが聞きに来て下さいました。具体的な内容は田伐先生の文章をご覧ください。

大韓航空機を利用しましたので、関西空港を出てまず向かったのは、韓国の仁川空港です。ここでなんと6時間もの待ち時間を過ごしてホノルルへと向かったのですが、日本から参加した子ども達にとってこの6時間は大変有意義なものとなりました。

ハブ空港である仁川空港には、時間を有効に過ごすための施設が充実しています。子ども達の遊び場も各所にあってそれこそ様々な国の子ども達が集まってきます。髪の色・目の色・肌の色も多彩なら言葉も多彩。身振り手振りと言の「??語」を駆使してみんな汗だくになって走り回ったり、あやとりやじゃんけんの仕方を教え合ったりして、それはそれは楽しそうでした。

「国際化」なんて漢字三文字で表すとなにやら高いハードルがあるように錯覚してしまいがちですが、子ども達にとっての国際化は「ふれあい」という柔らかいひらがな四文字で表すことのできる日常の延長線上にあるものだと知ることができました。

☆先月号の『西日本大会』結果報告で第2部金賞「濱野恵太くん」の名前が抜けておりました。

☆今月初旬より当教室の塾報がネットで見るできるようになりました。

そろばん tips

